

公共図書館 展示

ブックケア

= 未来へつながる保存の技術 =

本ってなに？ 修理ってなに？ 本を長く大切にさせていただくための保存の真髄を伝える展示も今年で4年目を迎えました。

ご好評をいただいた展示をもっと多くの方に見ていただこうと、昨年に引き続き、今年も劣化の原因と日頃のケア、修理の基本や材料・道具などの保存の技術を中心に、パネルと破損事例や道具類の実物でご紹介しました。

体験コーナーでは、本の仕組みを理解するための4種の綴じの方法を体験するワークショップを企画しました。

大勢の方が参加してくれました。



【パネル展示】

<劣化の原因を知り予防する（主な事例）>

◆日常の取扱いによる劣化の原因

①取り出し方《無理に引き出す》

背表紙に指をひっかけると壊れます。

②もどし方《無理に押し込む》

ゆがみ、折れ、シワ、やぶれの原因。

③置き方《不安定に置く》

本の形がゆがむ原因。

④運び方《手元から落とす》

本は衝撃に弱い。たくさん持たない。バランス良く、落とさないように運びます。

⑤めくり方《乱暴にページをめくる》

紙は破れやすいため優しく取り扱います。

⑥コピーの取り方《ノドを押しつける》

背割れ、ページ取れなどの原因。

⑦雨&水《水に濡らす》

水分は紙の天敵。適切な処置をしても完全には元に戻りません。

⑧論外《食べかす、汚れた手、書き込み》

◆間違った修理による劣化の原因

“強力な材料は構造のバランスを壊す”

⑨セロハンテープの使用

一度貼るとはがしにくく、時間の経過により、劣化して変色したり、パリパリになってはがれ、粘着層だけが残ります。

本の修理には、絶対に使用しません。

⑩強力すぎる材料の使用

強力な接着剤は、ぬった部分は丈夫でも、強度の差ができ、いずれ他の部分まで壊れます。修理用テープも、使用する場所や紙の傷み具合について、細心の注意が必要です。やり直しができないため、再修理が困難になります。

<本のケア>（日頃できるケアを紹介）

◆正しい取り扱い方

◆効果的な手当て

ページの折れ・シワの手当て

水濡れ（雨&水）の手当て

<保存の技術>（知っておきたい基本）

◆修理の基本と材料

①修理の基本

- ・何度でもやり直せること
- ・安全な材料を使う
- ・柔らかく軽く仕上げる

②基本的な材料

和紙（楮）（極薄・薄・中厚・厚4種類）、でんぷん糊、混合糊（でんぷん糊2：白ボンド1）、白ボンド、麻糸

◆本の修理の道具

筆（こしのある平筆）、カッターナイフ、
定規(金型 30cm)、目打ち、製本針、締め板、
重し（5kg、漬物石等）、櫛矢（目打叩き棒）

【配布資料】

◆『本の修理 きほんのき』その1～8

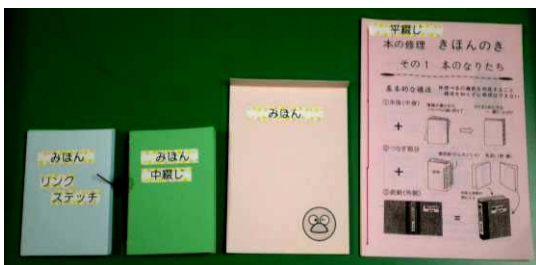
本を長く利用するために気をつけたいこと、
修理に最低限必要な道具や材料、知っておき
たい基本的なこと、よくあるケースの修理方
法をちょっとしたコツやヒントをまじえてご
紹介し、会場で配布しました。

毎年、バージョンアップしているものです
が、今年は、「研修会などで配布しました。」
という嬉しいお言葉もいただきました。



- その1 本のなりたち
- その2 とりあつかい
- その3 道具のこと
- その4 材料のこと
- その5 やぶれをなおす
- その6 かたちをなおす
- その7 ページがとれたら
- その8 ステップアップ

【体験コーナー】4種の綴じ体験



<リンク・ステッチ><中綴じ><無線綴じ><平綴じ>

①無線綴じ ★

重ねた紙の背を接着剤でかためるだ
けのカンタンメモ帳。壊れやすい本に多
くみられる綴じ方です。小さなお子さん
も、がんばって参加してくれました。

②中綴じ（三つ目）★★

半分に折った紙の真ん中に三つの穴を
あけて麻糸で綴じるメモ帳。ホッチキス
止めの冊子もこの方法で綴じ直せます。

③平綴じ（平綴じ）★★★

重ねた紙のノドに四つ穴をあけて麻糸
で綴じる方法。無線綴じの本が壊れた時
に使う方法です。

④リンク・ステッチ ★★★★★

折丁の背を一本の糸でかがる方法。ち
よっと難しいですが、かがりの糸が切れ
て折丁がとれてしまった時、この方法を
知っていれば修理することができます。

★：難易度



会場では、保存や修理について、「こんな修
理方法はありますか?」「こんな時はどうし
たら?」など様々なご質問をいただきました。
日常的に修理でお困りの方や、道具や材料や
手当の方法について、もっと知りたいという
気持ちをもっている方が多いことを毎年感じ
ています。予想以上にワークショップが盛況
だったため、パネルを見てくださった方にき
め細かな説明ができなかったのが心残りです。

次の機会には、よりパワーアップした展示
をお目かけます。お楽しみに!